

入澤組合長が退任

入澤宏さんが、このたび9期27年間の日南町森林組合長を定年制による任期満了で退任されました。

山陰地方では最も長い在任期間であり、森林組合のトップとして多くの業績を残され長年のご活躍に心からご苦労さまを申し上げます。

7月8日(日)、町内60名の皆さんが感謝を込めて、新旧組合長の歓送迎会を催しました。林業といえば大変厳しい産業のひとつとされていますが、その中でも町内企業の設立に尽力され、平成2年のグリーンシャインの設立(林業作業会社)、平成5年のウッドカンパニー(製材所)、平成6年の日南プレカット事業協同組合の設立、最近では平成18年の株式会社オロチ(単板積層材の製造加工)の設立を見ることができました。これも彼なくしては実現できなかったと言っても過言ではありません。

県下でも一番間伐が進んでいます。特に(株)オロチが操業してからは、町内産材(スギ・ヒノキ)の出荷量は3万m3から9万m3までに増えています。

林業が町の大きな主力産業のひとつとして雇用の増加、後継者づくりに貢献しています。

平成12年の鳥取県西部地震は大変な被害でしたが、これを乗り越え被害に遭った役場庁舎を木造建築とするため日南町産材の調達に奔走され、立派な庁舎ができて上がりました。

入澤さんの功績を申し上げればきりがありませんが、平成13年には林業功労者として黄綬褒章の栄に浴されました。

今回をもって後任の内田博長さん(鳥取県議会議長)にバトンタッチされました。

内田新組合長は、県議会の森林林業木材活性化議員連盟の会長もされ、幅広い人脈、実行力をもって林業振興に引き続いてご尽力いただけるものと期待しています。

このたび、森林組合の新旧交代がありました。日南町森林林業の一層の発展を願い、あわせてお二人のご健康とみなさまのご活躍をお祈り申し上げます。

NPO法人フォレストアカデミージャパン 理事長 矢田治美

平成24年度とっとり日通の森、森林育成活動

平成24年度7月7日(土)日本通運(株)の社員さんとその家族の方々が日南町で「森林育成活動」を行い、森の大切さや環境保全について学びました。

参加者は東京都、広島県、岡山県など鳥取県外から大人も子供も合わせて過去最多人数の51名。

町内神戸上地区で植栽の地ごしらえを行ったあと、クヌギ、ヤマザクラ、ケヤキの苗木を合計750本植えました。あいにくの雨でしたが、みなさん一本一本丁寧に植えてくださいました。

(第64回全国植樹祭シンボルマークキャラクターのお出迎えにみなさん大喜びでした。)

